

っているということを感じ取らせることをねらいとした。

4. 生徒の反応

導入で「性とは」という少々漠然とした内容を扱い、授業の方向性がよく定まらなかったことや、87名という2クラス分を対象としたため、始めの頃は少々ザワツキを生じさせる結果になった。しかし、生命創造の16mmフィルムやアンケートのプリントを読んでいる時はザワツキもなく、それらの内容に集中していたように思われた。授業後に感想文を書かせたが、それらから本時のねらいとしていた性の役割を感じ取ることよりも生徒たちは、生命の尊さ・神秘性を強く感じ取ったように思われた。感想文の一例をそのまま引用して次に掲げておく。

- 私のお母さんもとても苦労して私を生んでくれたと話してくれたし、今日の授業を聞いてもやはり今、ここにある私の命は大切にすべきだと改めて思いました。そして、人間がどんどん繁栄していくことは、とても大切なことで尊いことだと思いました。いつか自分が母親になる時には、その小さな命を大切に育て、その時の感激を忘れないようにしようと思います。（女子）
- 先生の話やフィルムを見て、本当に自分の命の大切さにびっくりしました。本当に今、私がここに生きていることがとても不思議で、すばらしい事なんだと思いました。赤ちゃんが生まれてくるところは初めて見て、すごくびっくりした。よく虫ピンの頭くらいの大きさから、今150cm以上にも大きくなるものだ后感心します。かんたんに少しいやな事があったくらいで自殺するなどとてもできない大切な体なんだと思いました。（女子）
- スライド、16mm、プリントをみて、生命の尊さがわかった。もし時間があれば、これからも「生命」ということについて考えていきたい。本当に今日の授業は、これから「生命」について考えていく素材になったと思う。（男子）
- 私は今まで「生命」というものに疑問を持っていた。何も無いところから生命が誕生するなんてどう考えても理解できなかったのである。しかし、今日の16

mmを見て、ぼやけてではあるがわかってきたような気がする。このように不思議なそして感動的な場面を持って誰もが生まれてきていると思うと「生命」というものがとても大切なことを改めて知らされる。決して命を粗末にはしてはいけない。生きられるだけ精一杯生きるんだ。そんなことを感じさせる授業だった。（女子）

- なぜ女の人ばかり苦労するのだろうか。女の人の方が大きくなり、自分を自分で守り、子供を生む時も苦しむ。こんなものを見ているだんな様の苦しみも伝わってくる。生命の誕生は絶対大切なものだ。未来になってもこの大切さは、変わらないと思う。（男子）
- 今日の16mmやスライド、先生の話、アンケートを読んで、生命の誕生が素晴らしいことを知りました。性の役割がとても重要であり、今まで目をそらして見ていたことも今日はなく、知ることができました。（女子）
- 今まで性に対して、とろくっさい考えをもっていた自分が恥ずかしくなりました。（男子）

5. 授業を終えて

本時においては、結局、本来のねらいであった性の役割を考えさせるよりも生命創造の神秘性と生命を尊重する気持ちを考えさせる内容になってしまった。従って、生徒の感想文からくみ取れるように、生命の神秘性に感激した者、生命の尊さを改めて痛感した者、そして中には、性の役割を考えた者と様々な感想を持ったようだ。要するに性の役割を生命創造だけに絞るのは無理があり、その結果、授業の流れの定まらない、それぞれ独立した内容の授業になってしまったような気がする。人間を考えていく上で「性」を取り扱っていかなければならないと思うが、このようなシリーズの中での1時間で取り扱う場合には、「性とは何か」と考えさせるにはあまりにも無理があったと痛感している。「生命創造」とか「生命の尊さ」などともっと焦点を絞って考え、その中に「性」についても触れるような授業にすれば、もっと深い感銘を与えられたのではないだろうか。

（3） 総合学習⑧「医学・生物学の進歩がもたらした新しい問題」の授業を終えて

三 橋 一 夫

授業の内容

○染色体について

生物体の設計図：遺伝子、DNA、性染色体
胎児の染色体を調べる技術の進歩

○胎児の性別・染色体異常がわかる。

例としてダウン症の場合を話す。

- 異常が発見されたとして、妊娠中絶などの処置を行うことが許されるかどうか。

参加した先生も含めてディスカッション

- 遺伝子工学の例として、授業の直前に報道された、ラットの成長ホルモンに関するDNAをマウスに移植し巨大なマウスをつくったことを話し、人間の遺伝子の操作も可能な時代に入ってきていることを実感させる。
- こうした技術的進歩に対応する体勢を我々がつくっていかなくてはならないことについての話し合い。

授業についての生徒の感想

- 興味・関心を持ったもの(男9, 女12)
 - ・ 人間が絶え間ない努力で医学の進歩に努めて来たが、その進歩のためにまた新たな社会問題が生まれてくることに心の痛む思いがする。
 - ・ 遺伝子というほんの小さなもの1つが狂っても、まともな人間が生まれないうことに驚いた。
 - ・ 染色体の写真や遺伝子の模型をみて、生物学の進歩に感心すると共に何か恐しい気もする。
 - ・ 人間の命の尊さを感じた。
 - ・ 大変ためになった。特に遺伝子工学のことは始めて知ったので感動した。
 - ・ びっくりした。たくさん印象的なことがあるのですが、うまく表現できない。
 - ・ これからの社会ではこうした問題をどう扱うか自分たちで決めていかなくてはいけないことが判って感動した。これからもこうした問題をもっと深く知り考えたいと思った。
 - ・ 総合学習の一つに、今後の食糧問題の話があったが、遺伝子工学の進歩で飢餓を救えないだろうか。
- 中立的感想を記したもの(男22, 女18)
- 不安・疑問を感じるもの(男2, 女4)
 - ・ 人間は常に進歩を求めていくものだが、こうしたことまで判ってしまつてよいのだろうか(生まれるまでに性別や異常がわかってしまうこと)。このよう

な学問の進歩が我々の社会に素晴らしいものをもたらすことになるか疑問に思う。遺伝子工学が人間に適用される時代が来たとき、その可否をどう判断するか不安である。子供を生む前から男女が判るとは知らなかった。でも知らない方がよかったと思う。

- ・ 人間は自然に生まれ自然に消えていく。なぜそれを人間の手が変えなければならないのだろうか。
- 生物学・医学の進歩への驚き(男5, 女8)
 - 人間というものが、こうしたことにまで手を加えていくとは思ひもよらなかった。
- 将来への期待(男8, 女1)
 - 遺伝子工学が人間にも応用されるなら、ダウン症の治療もできるようになるのではないか。作物・家畜・利用したらずっと豊かな生活がおくれるだろう。
- 興味・関心がもてなかったもの(男1, 女1)
 - あまりよくわからず、おもしろくなかった。むつかしかった。人間が試験台になっているようでいやだった。

今後の問題点

- 内容的に1時間では無理があった。他のテーマでも同様と思うが、2時間ずつ位の時間があるとよいのではないか。
- 生徒の発言・討論が少なかった。もう少し生徒が身近かなものとできる問題設定をすべきだった。一方同席した先生方が積極的に発言されたことにより、生徒は考えるヒントを得たし、各先生の考え方を興味をもって聞いたようだ。今後パネルディスカッション的な進め方も考えてよいのではないかと思う。
- 生徒は教科書から離れたこのような日常的問題に十分興味を示すように思えた。今後も適切なテーマをとらえてこうした場がもてるとよいと思う。

(4) 総合学習⑨「ことば」についての授業

1. 資料

授業の指導案は前回(本紀要第27集)掲出済みなので省略する。概略その指導案に沿って授業を行ったのだが、その時に生徒に配ったプリントを、資料として次に掲げておく。

A

1. 今までの学習

松井・田中・徳井・増田・高須・安藤・三橋

白 井 宏

2. ことばの機能 — 4月の復習 —

- ア 伝 達
- イ 思 考
- ウ 保 存

3. 動物の信号

4. 人間のことば — 性格・構造 —

- ア 信号の信号
- イ 抽象表現
- ウ 分節構造